



令和 6年  
1月号  
(No. 00049)



(編集・発行・発行日) 2024年 1月 3日  
株式会社 ONE STEP  
イングリエンタルサービス  
〒655-0041 神戸市垂水区神楽台3-2-1-12  
TEL:078-777-6524 FAX:078-778-8133

# 謹賀新年



# 2024 新春のお慶びを申し上げます

平素より格別のお引立てを賜り、誠に有難うございます。本年も、より一層ご期待に応えてゆけるようサービスの向上に、一生懸命、励んでまいりますので、相変わらせずご指導下さいますよう、何卒よろしく願い申し上げます。重ねまして、皆様のご健康とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

代表取締役社長 森田 裕一

辰年の「辰」は、「振るう(ふるう、ととのう)」を意味する文字に由来しており、陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。そこで、数年前の辰年はどうだったか振り返ってみました！

辰年 ニ ュ ー ス	1964(昭和39):	「東京オリンピック」開催。オリンピックの開催に合わせて「東海道新幹線」が開業。	
	1976(昭和51):	「アップルコンピュータ(Apple)」設立。大和運輸が「クロネコヤマトの宅急便」を開始。	
	1988(昭和63):	「青函トンネル」・「瀬戸大橋」・「東京ドーム」など大型建造物が竣工しました。	
	2000(平成12):	「公的介護保険制度」がスタート。「2,000円札」が発行されたのもこの年です。	
	2012(平成24):	「東京スカイツリー」が開業。「iPS細胞」で山中教授がノーベル生理学・医学賞を受賞。	
	2024(令和06):	日本の紙幣(千円、五千元、一万元)が刷新される。フランス(パリ)で100年ぶり3回目のオリンピック開催。	

相場や商売の格言で、「戌亥で買って、辰巳で売れば蔵が建つ」と言われ、過去を見ても何だか縁起の良い年に感じます。今年には是非とも景気の良い年であり、皆様におかれましてもご健勝であります事を心より祈念申し上げます。(スタッフ一同)

## 今月のエッセイ

### 2024年 1月

#### KEG

お正月映画  
前田 佳代子

「若い頃は、映画が一番の娯楽やったでねえ」  
父はそう言って『ローマの休日』や『東京物語』など、好きな映画の話をよくした。  
父が、お正月には映画館に連れていってくれた。

今のよう  
な入れ替え  
制ではない  
ので、前の  
回が終わる  
少し前に劇  
場に入ると、  
次の回にち  
やんと座れ  
るからと、  
張り切って

早めに出かけたものだ。『ゴジラ』シリーズや、父の希望で『男はつらいよ』を観た年もあった。繁華街のお正月の賑わいと、父と出かけるのが特別で、うれしかった。  
今年九十一歳で、遠方でひとり暮らしをする父を、毎月訪ねている。だんだん足腰が弱くなり、外出時には車椅子を利用しがちだが、

それさえあればどこでも行けるねと、あちこち出かける。ある日、新聞の映画欄で『絶唱』が上映されているのを見つけて「観たいなあ」と言う。父がよく行っていた名画座だ。高倉健や吉永小百合、原節子ら昭和のスターを大きく絵に描いた看板が掲げている。赤いビロードの座席もレトロ感があつて、またいい。

てっきり私は中学生の時に観た山口百恵と三浦友和の映画だと思つたら、なんと和泉雅子と舟木一夫の『絶唱』で、思わず見入った。「モノクロ映画もいいでしょ」と満足げな父。

別の日は、寅さんを観た。映画が始まるなり、「ああ大原麗子の声や」、しみじみとした面持ちで父がつぶやく。

「面白かったねえ」。父との会話も弾み、子どもの頃のウキウキしたお正月を思い出す。

東京の「采村治美エッセイストグループ」さまの協力を得て、掲載しております。